

# 9 文化観光スポーツ部

## 目 次

(1) 万国津梁会議費（新規）	307
(2) 文化観光戦略推進事業（継続）	308
(3) 沖縄観光国際化ビッグバン事業（継続）	309
(4) 外国人観光客受入体制強化事業（継続）	311
(5) カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業（継続）	313
(6) 沖縄の観光資源を活用したエンターテイメント創出・観光メニュー 開発等の支援（継続）	314
(7) フィルムツーリズム推進事業（継続）	315
(8) 観光振興財源確保検討事業（新規）	316
(9) クルーズ船プロモーション事業（継続）	317
(10) 観光人材の育成（継続）	318
(11) エコツーリズムの推進（継続）	319
(12) 世界文化遺産登録20周年記念事業（新規）	321
(13) 戦略的MICE誘致促進事業（継続）	322
(14) 大型MICE受入環境整備事業（継続）	324
(15) 地域通訳案内士育成等事業（継続）	325
(16) スポーツコンベンションの推進（継続）	327
(17) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業（継続）	329
(18) 東京2020オリンピック沖縄県聖火リレー推進事業（新規）	330
(19) 2020東京オリンピック・パラリンピック選手輩出事業（継続）	331
(20) 競技力維持・向上対策事業（継続）	332
(21) 離島観光活性化促進事業（継続）	334
(22) Be. Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業（新規）	336
(23) 沖縄食文化保存・普及・継承事業（継続）	337
(24) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）	338
(25) おきなわ国際協力人材育成事業（継続）	341
(26) 組踊上演300周年記念事業費（新規）	343
(27) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業（新規）	344
(28) 沖縄県空手振興事業（継続）	345
(29) しまくとぅば普及継承事業（継続）	348
(30) 琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）	350
(31) デジタルミュージアム推進事業（継続）	351
(32) 文化発信交流拠点整備事業（継続）	352
(33) 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業（継続）	353
(34) 多文化共生推進事業（継続）	354
(35) 社会体育活動の推進（継続）	356
(36) 観光産業におけるバリアフリー化の促進（継続）	359

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：自立経済発展資源の創出

重点施策事業名：万国津梁会議（新規）

事業期間：令和元年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

### 1 事業の目的・内容

沖縄21世紀ビジョンの基本理念及び5つの将来像を実現し、新時代沖縄を構築するため、有識者等の意見を聴取する「万国津梁会議」を設置する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
万国津梁 会議費	29,311	1 万国津梁会議 費  沖縄21世紀ビジ ョンの基本理念及 び5つの将来像を 実現し、新時代沖 縄を構築するた め、有識者等の意 見を聴取する「万 国津梁会議」を設 置する。	21,501	1 万国津梁会議 費  令和元年度は3 分野（米軍基地問 題、児童虐待、SD Gs）において会議 を設置した。 それぞれの会議 において、有識者 が議論し、知事 に対して提言や中 間報告がなされた。	最終予算額 29,311 執行率 73.4% 不用額 7,810

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 万国津梁会議

効果：万国津梁会議設置要綱に基づき、令和元年度は、知事が提示した3分野（米軍基地問題、児童虐待、SDGs）において会議を設置し、それぞれ有識者が議論し、知事に対して提言や中間報告がなされた。

課題：各会議において報告された意見や提言を踏まえ、更なる政策の推進が必要である。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：自立経済発展資源の創出

**重点施策事業名**：文化観光戦略推進事業（継続）

**事業期間**：平成24年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

**1 事業の目的・内容**

沖縄の特色ある文化・芸能等を観光資源として活用した観光振興の取組を促進する。

**2 事業の実績**

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
文化観光 戦略推進 事業	63,900	1 文化観光戦略 推進事業  ・文化資源を活用 した舞台公演及び プロモーションを 実施する。  ・県内各地の伝統 行事や文化関連イ ベント情報のポー タルサイトを構築 し、広く情報発信 を行う。	59,970	1 文化観光戦略 推進事業  ・文化資源を活用 した舞台公演及び プロモーションを 実施した。  ・県内各地の伝統 行事や文化関連イ ベント情報のポー タルサイトを構築 し、広く情報発信 を行った。	☆ 最終予算額 63,900 執行率 93.8% 不用額 3,930

**3 事業の効果/課題**

(1) 文化観光戦略推進事業

効果： マグネットコンテンツ公演の県内での認知度が高まり、一部では定番化しつつある。また文化関連イベント情報のポータルサイトが構築され、情報発信を行う体制の整備が進んだ。

課題： より観光客の入場者数を増やす必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：沖縄観光国際化ビッグバン事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

空港や港などの主要インフラ整備に併せ、海外市場開拓や集中的な航空路線誘致を行うことで、外国人観光客数の増加や将来目標400万人達成に向けた基盤を形成するため、市場特性等を踏まえたプロモーションを推進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 国際化ビ ッグバン 事業	1,011,000	1 沖縄観光国際 化ビッグバン事 業	990,000	1 沖縄観光国際 化ビッグバン事 業	☆ 最終予算額 1,031,000 執行率 96.0% 不用額 41,000
	11,469	(1)海外路線誘致活 動強化事業	13,867	(1)海外路線誘致活 動強化事業	最終予算額 14,000 不用額 133
	27,277	(2)国際チャーター 便包括支援事業	6,395	(2)国際チャーター 便包括支援事業	最終予算額 6,400 不用額 5
	439,746	(3)定期便就航促進 ・活性化支援事業	277,907	(3)定期便就航促進 ・活性化支援事業	最終予算額 278,000 不用額 93
	120,689	(4)海外新規市場開 拓事業	234,057	(4)海外新規市場開 拓事業	最終予算額 235,000 不用額 943
	86,438	(5)海外重点市場誘 致強化事業	89,610	(5)海外重点市場誘 致強化事業	最終予算額 90,000 不用額 390
	100,000	(6)沖縄観光ブラン	99,999	(6)沖縄観光ブラン	最終予算額 100,000

		ド戦略推進事業		ド戦略推進事業	不用額
					1
	60,006	(7)海外コンテンツマーケティング事業	135,485	(7)海外コンテンツマーケティング事業	最終予算額 135,500 不用額 15
	140,858	(8)沖縄国際観光イノベーション事業	108,305	(8)沖縄国際観光イノベーション事業	最終予算額 147,725 不用額 39,420
	24,517	(9)海外富裕層向けプロモーション事業	24,375	(9)海外富裕層向けプロモーション事業	最終予算額 24,375 不用額 0

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄観光国際化ビッグバン事業

効果： 好調な観光需要を背景に既存路線の増便や複数会社化が進んだことから、県内空港における国際線の週間就航便数は平成30年度末の週232便から令和元年8月には256便まで伸びた。しかし、10月に発生した日韓関係悪化や香港のデモ騒動、新型コロナウイルス感染症の発生により令和2年3月末時点で全便運休となっている。

外国人観光客数についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、平成30年度の300万人から249万人（うち空路142.7万人、海路106.3万人）となり、前年度比17.0%の減少となった。主な国別の内訳は、台湾85.8万人（前年度比6.5%減）、中国本土61.3万人（前年度比11.7%減）、韓国24.7万人（前年度比55.3%減）、香港25.2万人（前年度比8.2%減）となっている。

課題： 東南アジアからの直行定期便の拡大・安定化と東アジア路線の離島への誘導、及び経由便を活用した欧米等の長期滞在型リゾート需要の獲得、また、観光客滞在日数の延伸に向けた取組などを進める必要がある。

### 4 その他

県では、欧米市場等において日本やアジアの他都市との周遊旅行を提案することによる需要の取り込みを図るため、「国際旅客ハブ」構想を発表。今後、航空会社等との連携により、沖縄をアジア、日本旅行の拠点とするための取組を強化している。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：外国人観光客受入体制強化事業（継続）

事業期間：平成27年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

第5次沖縄県観光振興計画で定める入域観光客にかかる目標値を確実に達成するため、国際観光地に相応しい世界水準の受入体制を構築する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
外国人観光客受入体制強化事業	293,600	1 外国人観光客受入体制強化事業	286,574	1 外国人観光客受入体制強化事業	☆ 最終予算額 293,600 執行率 97.6% 不用額 7,026
	223,104	(1) 外国人観光客受入体制強化事業 ・多言語情報発信受入サポート事業（コンタクトセンター対応件数7,700件） ・受入ツール制作事業（8件） ・受入インフラ整備支援事業（翻訳支援50件） ・インバウンド受入強化啓発事業（インバウンド連絡会4回） ・ムスリム等受入環境整備事業（セミナー1回） ・インバウンドビジネスサポート事業（マッチングサイトPV数227,000件） ・インバウンド対応緊急医療態勢整備支援事業	216,082	(1) 外国人観光客受入体制強化事業 ・多言語情報発信受入サポート事業（コンタクトセンター対応件数3,806件） ・受入ツール制作事業（9件） ・受入インフラ整備支援事業（翻訳支援48件） ・インバウンド受入強化啓発事業（インバウンド連絡会4回） ・ムスリム等受入環境整備事業（セミナー2回） ・インバウンドビジネスサポート事業（マッチングサイトPV数290,000件） ・インバウンド対応緊急医療態勢整備支援事業	最終予算額 223,104 不用額 7,022

54,260	(2) インバウンド 緊急医療等対応多 言語コールセンタ ー事業	54,256	(2) インバウンド 緊急医療等対応多 言語コールセンタ ー事業	最終予算額 54,260 不用額 4
16,236	(3) 那覇空港にお ける公共交通情報 提供委託業務	16,236	(3) 那覇空港にお ける公共交通情報 提供委託業務	最終予算額 16,236 不用額 0

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 外国人観光客受入体制強化事業・多言語情報発信受入サポート事業

効果： 多言語コンタクトセンターの運営やインバウンド受入事業者への支援、インバウンド連絡会の開催等、外国人観光客受入に係る取組を行ったことにより、県内の外国人観光客の受入体制強化が図られた。

課題： 外国人観光客実態調査における項目別満足度が最も低い「外国語対応能力」に関して、多言語コンタクトセンター等の利活用促進及び翻訳支援を継続して行う必要がある。

#### (2) インバウンド緊急医療等対応多言語コールセンター事業

効果： 平成30年4月から、Be.Okinawaインバウンド医療通訳コールセンターを開設し、県内の医療機関における外国人観光客受入に係る支援を行ったことにより、県内の外国人観光客の受入体制強化が図られた。

課題： 外国人観光客が安心して沖縄観光を楽しめる受入環境整備と医療機関等の負担軽減を目的に当該事業を継続する必要がある。

また、外国人観光客向けの急なケガ・病気相談窓口については、認知度の向上が課題であるため、旅前でのプロモーション等を検討する。

#### (3) 那覇空港における公共交通情報提供委託業務

効果： 那覇空港に設置したデジタルサイネージに公共交通の運行情報や利用促進PR動画を表示し、観光客の移動手段の分散化及び不満解消による沖縄観光の満足度向上を図った。

課題： 利便性の高く分かりやすい情報を発信することにより公共交通機関の利用率をさらに高めていく必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：カップルアニバーサリーツアーリズム拡大事業（継続）

事業期間：平成28年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

カップルアニバーサリーを沖縄観光ブランドの一つと位置付け、国内外に向けたブランディング及び挙式組数の増加、観光消費額の向上を図る。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
カップル アニバー サリーツ ーリズム 拡大事業	44,700	1 カップルアニ バーサリーツ ーリズム拡大事業 ・国内プロモーシ ョン ・海外プロモーシ ョン ・情報発信 ・受入体制強化	44,364	1 カップルアニ バーサリーツ ーリズム拡大事業 ・国内プロモーシ ョン（4件） ・海外プロモーシ ョン（5件） ・情報発信（web） ・受入体制強化 （連絡会4回）	☆ 最終予算額 44,700 執行率 99.2% 不用額 336

### 3 事業の効果/課題

#### (1) カップルアニバーサリーツアーリズム拡大事業

効果： 令和元年（暦年）の実施組数は、対前年比97.2%（476組減）の16,639組と昨年と比較し、減少となったものの、海外市場の台湾、中国市場では昨年を上回っており、中国市場については、前年比129.3%の伸びを見せている。

課題： 近年フォトウエディングの人気の高まっており、単価の高い価格帯の商品（チャペルウエディング）から手の届きやすい価格帯の商品（フォトウエディング）に移行しているといえる。国内、海外市場において、沖縄リゾートウエディングの価値の維持・向上を図る取り組みが必要である。

また、国内・海外ともにウエディング市場の縮小が見られるため、新たな市場の開拓を積極的に行う必要がある。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：沖縄の観光資源を活用したエンターテインメント創出・観光メニュー開発等の支援（継続）

**事業期間**：平成30年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

観光誘客及び消費額向上、滞在日数延伸につながる、沖縄が持つ様々な資源を活用した沖縄独自の観光商品（高付加価値型観光）の開発に取り組む民間事業者を支援する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄の観光資源を活用したエンターテインメント創出・観光メニュー開発等の支援	99,900	1 沖縄観光コンテンツ開発支援事業  国内外の観光誘客につながる沖縄が持つ様々な資源を活用した沖縄独自の観光商品（高付加価値型観光）について、民間企業等の自主的な取り組みを促進するため、公募により新たな観光コンテンツ開発プロジェクトを選定し、集中的に支援する。	93,749	1 沖縄観光コンテンツ開発支援事業  国内外の観光誘客につながる沖縄が持つ様々な資源を活用した沖縄独自の観光商品（高付加価値型観光）について、民間企業等の自主的な取り組みを促進するため、公募により新たな観光コンテンツ開発プロジェクトを選定し、集中的に支援した。 (実績支援 件数:12件)	☆ 最終予算額 95,959 執行率 97.7% 不用額 2,210

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄観光コンテンツ開発支援事業

**効果**： トップシェフが沖縄の食材を使用し、野外の特色ある場所で期間限定で実施する高単価なレストランや、ナイトタイムエコノミーの活性化に寄与する夜の集客イベント（スカイランタンやナイトマーケット）など、滞在日数の延伸や消費額の向上に繋がるコンテンツの造成に寄与した。

**課題**： 誘客に繋がる沖縄の持つ魅力や素材を活かした質の高いコンテンツが不足しており、引き続きコンテンツの造成を支援する必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：フィルムツーリズム推進事業（継続）

事業期間：平成25年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

ロケ地としての沖縄の魅力を内外へ発信し、ロケ誘致を推進するとともに、ロケ隊の受入強化のため、地域との連携を図る。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
フィルム ツーリズム 推進事業	161,700	1 フィルムツーリズム推進事業	158,391	1 フィルムツーリズム推進事業	☆ 最終予算額 161,700 執行率 98.0% 不用額 3,309
	161,700	フィルムツーリズム推進事業 ・国内外の映画祭等ブース出展 ・撮影にかかる相談、ロケ支援業務 ・ロケ地魅力発信、受入強化事業 ・WEB情報発信	158,391	フィルムツーリズム推進事業 ・国内外の映画祭等ブース出展（5件） ・撮影にかかる相談、ロケ支援業務（49件） ・ロケ地魅力発信、受入強化事業（4回） ・WEB情報発信	

### 3 事業の効果/課題

#### (1) フィルムツーリズム推進事業

効果： 支援した作品の放映により、本県の魅力が発信されることで、観光客の来県に寄与した。

課題： 離島を含む県内各地でロケが行われているが、一部、無許可でのロケや私有地への無断侵入等、ロケ地近隣住民とトラブルとなっている事例がある。また、ロケにより生じるロケ地及びその周辺地域への影響や効果について、調査する必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：観光振興財源確保検討事業（新規）

事業期間：令和元年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光政策課

### 1 事業の目的・内容

観光目的税の導入に向けた先進導入自治体調査及び関係者の理解促進のためのシンポジウム等を実施する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光振興 財源確保 検討事業	6,400	1 観光振興財源 確保検討事業  ・観光目的税の導入に向け観光事業者、観光客、県民等の関係者による理解を深めるため、先進導入事例を調査するとともに、シンポジウム（南部・北部・宮古・八重山計4回）や説明会を開催する。	373	1 観光振興財源 確保検討事業  ・観光目的税導入に向けた取り組みに係る説明会旅費 291千円 （名護・宮古・石垣・座間味・渡嘉敷・那覇・伊平屋・伊是名）  ・観光目的税に係る総務省調整旅費 82千円  ・新型コロナウイルス感染症等の影響によりシンポジウム開催不可 0千円	最終予算額 6,400 執行率 5.8% 不用額 6,027

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 観光振興財源確保検討事業

効果： 観光目的税制度の導入施行に関する検討委員会からの提言等について、各市町村及び宿泊事業者へ説明会を開催し、情報共有を図った。納税者や宿泊事業者等の関係者の理解が得られるよう、今後も適宜説明をしながら進める。

課題： 2月下旬～3月上旬に予定していたシンポジウムについて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響など観光を取り巻く環境の変化により実施できなかった。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：クルーズ船プロモーション事業（継続）

**事業期間**：平成24年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

クルーズ船の寄港を拡大するため、展示会参加や船社への営業活動、フライ&クルーズの推進、情報発信等のプロモーションを実施するとともに、受入体制の強化を推進する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
クルーズ 船プロモ ーション 事業	90,500	1 クルーズ船プロモーション事業  ・誘致活動 ・寄港促進支援 ・受入体制強化 ・ツール制作等	89,040	1 クルーズ船プロモーション事業  ・誘致活動 (船社訪問等) ・寄港促進支援 (広告支援等) ・受入体制強化 (観光案内所設置等) ・ツール制作等 (パンフレット制作等)	☆ 最終予算額 90,500  執行率 98.4%  不用額 1,460

### 3 事業の効果/課題

#### (1) クルーズ船プロモーション事業

**効果**： 船社へのセールス活動やキーパーソン招聘、受入体制の強化等が奏功し、令和元年のクルーズ船寄港回数は那覇港が260回で全国1位となったほか、石垣港が148回で全国5位、平良港が147回で全国6位となった。  
また、海路による外国人観光客数は約124.7万人で平成24年の約8.5倍まで増加している。

**課題**： クルーズ船の寄港分散化に向け、全県的にクルーズ船の誘致・受入が推進できる体制の構築を図る必要がある。

また、フライ&クルーズの促進や、ラグジュアリー/プレミアムクラスのクルーズ船誘致により、1人あたり県内消費単価を向上させる必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：観光人材の育成（継続）

事業期間：平成30年度～令和2年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成・確保し、国際観光地としての沖縄の評価確立を図る。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光人材 の育成	104,700	1 観光人材育成 ・確保促進事業 ・110事業者の企業研修に、講師派遣及び研修費用助成を行う。  ・観光関連事業者が共通に抱える課題に取り組むため集合型研修等を開催し、50事業者が参加する。  ・語学人材確保を支援するため、県外・海外就職相談会を実施し、70事業者が出展する。	89,021	1 観光人材育成 ・確保促進事業 ・42事業者の企業研修に、講師派遣及び研修費用助成を行った。  ・観光関連事業者が共通に抱える課題に取り組むため集合型研修等を開催し、61事業者が参加した。  ・語学人材確保を支援するため、県外・海外就職相談会を実施し、41事業者が出展した。	☆ 最終予算額 97,702 執行率 91.1% 不用額 8,681

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 観光人材育成・確保促進事業

効果： 企業研修及び集合型研修満足度 94.3%

(企業研修及び集合型研修の受講者にアンケートを実施し、研修の効果を検証した)

また、就職相談会に起因する採用内定者は、24人となっており、観光客が満足する高いサービスを提供できる人材の確保に寄与している。

課題： 企業研修の自走化を図るため助成率を下げたことから、事業への応募が減少している。助成無しでも企業研修が活性化するよう観光事業者の人材育成に対する重要性を認識させることが重要と考えている。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：エコツーリズムの推進（継続）

事業期間：平成30年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄独自の自然環境を活用した、沖縄ならではのエコツーリズムを推進し、その推進体制の構築により、エコツーリズム産業全体の底上げを図り、観光客の満足度向上を図る。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
エコツーリズムの 推進	6,148	1 エコツーリズム推進プラットフォーム事業  ・今後県で推進すべき持続可能な観光及びそれを推進する団体のあり方を検討する。  ・普及啓発活動として、持続可能な観光をテーマとしたフォーラム等を開催する。	5,383	1 エコツーリズム推進プラットフォーム事業  ・今後県で推進すべき持続可能な観光及びそれを推進する団体のあり方を検討し、提言書として取りまとめた。 (検討会は3回開催)  ・普及啓発活動として、持続可能な観光をテーマとしたフォーラム(1回)を開催した。	最終予算額 6,148 執行率 87.6% 不用額 765

### 3 事業の効果/課題

#### (1) エコツーリズム推進プラットフォーム事業

効果： エコツーリズム関連事業者、観光事業者、行政等からなる委員会を設置し、今後の持続可能な観光のあり方について提言を受けた。また、フォーラムの開催により、課題や先進事例等の共有を図り、エコツーリズムの推進について官民一体となった気運の醸成がなされた。

課題： 沖縄における持続可能な観光の実現に向けては、「沖縄振興計画」や「沖縄県観光振興基本計画」における持続可能な観光に関する方向性を

確認し、文化観光スポーツ部だけでなく他部局とも連携した取組を検討する必要がある。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：世界文化遺産登録20周年記念事業（新規）

**事業期間**：令和元年度～令和2年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

世界文化遺産の登録20周年に合わせて、9つの遺産が一体となったパンフレット、PV等を作成するとともに、国内外へのプロモーション等を実施し、観光誘客及び遺産群の恒久的な価値の向上を図る。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
世界文化遺産登録20周年記念事業	40,600	1 世界文化遺産登録20周年記念事業  ・PRツール制作 ・旅行博への出展 ・スタンプラリーの実施	40,519	1 世界文化遺産登録20周年記念事業  ・PRツール制作 (PR動画、パンフレット等) ・旅行博への出展 (台北旅行博覧会、お城EXPO等) ・スタンプラリーの実施	☆ 最終予算額 40,600 執行率 99.8% 不用額 81

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 世界文化遺産登録20周年記念事業

効果：PRツール (PR動画、パンフレット) を活用したプロモーションや旅行博等への出展、スタンプラリーの実施により、当該事業の成果目標である2つ以上の遺産を周遊した人の割合は、26.9%から14.3ポイント上昇し、41.2%ととなった。

課題：2つ以上の遺産を周遊した人の割合については、年齢層が上がるほど上昇する傾向にあった。このことを踏まえ、若年層の周遊率向上を図るための効果的な取組が必要である。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：戦略的MICE誘致促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

### 1 事業の目的・内容

国内外からMICE需要を取り込むため、MICE誘致・広報活動、開催支援、受入体制整備、人材育成を行い、産業界と連携したMICE振興を整備する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦略的MICE誘致促進事業	381,200	<p>1 戦略的MICE誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外のMICE見本市・商談会への参加及び誘致セミナーの開催等を通じて、誘致・広報事業を実施する。</li> <li>・沖縄県内で開催されるMICEに対して、開催支援等を実施する。</li> <li>・地域におけるMICE受入体制の充実を図る。</li> <li>・沖縄MICE振興戦略に基づき、産学官の連携体制の強化・拡充を図る。</li> </ul>	351,900	<p>1 戦略的MICE誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外のMICE見本市・商談会において380件、県内のMICE商談会において外部バイヤーと県内企業の商談を387件実施した。</li> <li>・沖縄県内で開催されるMICE（371件）に対して、開催支援等を実施した。</li> <li>・MICE人材の育成や地域施設を活用したプログラムの開発等を実施した。</li> <li>・産学官（会員数283団体）で構成する沖縄MICEネットワークを運営し、会員向けセミナーの開催やMICEプログラム開発を実施した。</li> </ul>	<p>☆ 最終予算額 381,200 執行率 92.3% 不用額 29,300</p>

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 戦略的MICE誘致促進事業

効果： 国内外での誘致・広報活動を通じて、MICE開催地としての沖縄の認知度向上に繋がったほか、商談会への参加や営業活動等により、事業者の資質の向上が図られた。

開催支援等を通じて沖縄でのMICE開催件数の増加に繋がったほか、主催者や参加者の満足度向上が図られた。

MICE人材の育成、沖縄MICEネットワークを通じた産学官の連携強化など、受入体制の強化を図った。

上記の取り組みを推進することで、全県的なMICE推進体制の強化・拡充を行うことができた。

課題： アジア諸国及び国内他都市におけるMICE誘致競争は激化しており、MICE開催地としての継続的なプロモーションや競合地との差別化が必要である。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、我が県のみならず全国的にもMICE開催は中止や延期せざるを得ない状況であるが、6月に示された「新しい生活様式」に対応するとともに、各業界・施設が策定する新型コロナウイルス感染防止対策等のガイドラインに沿った形での開催を推進する必要がある。

そのためには、関係業界及び関係施設ごとにMICE開催におけるガイドラインの策定を推進し、安全・安心なMICE開催地として沖縄を発信していく必要がある。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：大型MICE受入環境整備事業（継続）

**事業期間**：平成27年度～令和元年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 MICE推進課

### 1 事業の目的・内容

国際間でのMICE誘致競争が激化している中、既存施設では対応できない大規模MICEの誘致を促進するため、多目的ホールや展示場、中小会議室を備えた全天候型施設の整備を行う。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
大型MICE 受入環境 整備事業	28,839	1 大型MICE受入 環境整備事業  ・大型MICE施設の 整備を含むマリン タウンMICEエリア の形成に向けたPPP （官民連携）導入 可能性調査を実施 する。	26,323	1 大型MICE受入 環境整備事業  ・大型MICE施設の 整備を含むマリン タウンMICEエリア の形成に向けたPPP （官民連携）導入 可能性調査を実施 した。	最終予算額 29,227 執行率 90.1% 不用額 2,904

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 大型MICE受入環境整備事業

効果： マリントウンMICEエリアの形成に向けたPPP導入可能性調査を実施した。

また、調査と並行し、大型MICEエリア振興に関する協議会及び作業部会を開催した。

課題： 新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等の検討業務を実施する必要がある。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：地域通訳案内士育成等事業（継続）

**事業期間**：平成25年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 観光政策課

### 1 事業の目的・内容

外国人観光客への対応力の向上を図るため、地域通訳案内士の育成を行うほか、地域通訳案内士の有資格者に対する就業機会の確保を図るため、スキルアップ研修や旅行会社等のマッチングを行う。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
地域通訳案内士育成等事業	47,400	1 地域通訳案内士育成等事業  ・沖縄県地域通訳案内士育成研修の実施 募集人数 中国語：50名程度 韓国語：10名程度 合 計：60名程度  ・有資格者に対するスキルアップ研修の実施 募集人数 中国語：60名程度 韓国語：10名程度 英 語：50名程度 合 計：120名程度  ・有資格者に対するフォローアップ支援：マッチング会の実施 1回	46,249	1 地域通訳案内士育成等事業  ・沖縄県地域通訳案内士育成研修の実施 研修修了者数 中国語：10名 韓国語：3名 合 計：13名  ・有資格者に対するスキルアップ研修の実施 研修修了者数 中国語：31名 韓国語：5名 英 語：13名 合 計：49名  ・OJTツアー研修の実施 1回 1名参加	☆ 最終予算額 47,400 執行率 97.6% 不用額 1,151

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 地域通訳案内士育成等事業

効果： 地域通訳案内士の育成と確保により、本県を訪れる外国人観光客のニーズの多様化・高度化や量的拡大に対応できる人材が育成・確保され、受入体制の充実・強化が図られるとともに外国人観光客の満足度の向上と再訪意欲の向上が見込まれる。

課題： 資格取得者に対する最新のアンケート調査において、未就業者は50.8%存在し、就業していない主な理由として一定の収入が見込めないことが挙げられていることから、有資格者の就業確保のためのフォローアップ支援やスキルアップ研修を引き続き実施する必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：スポーツコンベンションの推進（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

沖縄の温暖な気候とスポーツ資源を活用した新たな観光メニューであるスポーツツーリズムの普及を促進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ コンベン ションの 推進	328,900	1 スポーツツー リズム戦略推進 事業	312,947	1 スポーツツー リズム戦略推進 事業	☆ 最終予算額 319,841 執行率 97.8% 不用額 6,894
	82,340	(1) スポーツイベ ント支援事業 ・県内で開催する スポーツイベント 及び国際大会に対 する補助。	74,712	(1) スポーツイベ ント支援事業 ・県内で開催する スポーツイベント に対する補助5 件、国際大会2件。	最終予算額 74,925 不用額 213
	69,647	(2) スポーツ観光 誘客促進事業 ・沖縄県へのスポ ーツ旅行に係るプ ロモーション。	64,417	(2) スポーツ観光 誘客促進事業 ・県外見本市等へ の出展等によるプ ロモーション実施 件数25件。	最終予算額 69,647 不用額 5,230
	43,302	(3) プロ野球キャ ンプ等訪問観光 促進事業 ・SNS活用プロモ ーション、空港・ 国際通りへの歓迎 バナー掲出	43,302	(3) プロ野球キャ ンプ等訪問観光 促進事業 ・SNS活用プロモ ーション、空港・ 国際通りへの歓迎 バナー掲出	最終予算額 43,302 不用額 0
	41,435	(4) スポーツコミ ッション沖縄体 制整備事業 ・スポーツコンベン ションの受入に 係るワンストップ 窓口設置。	41,425	(4) スポーツコミ ッション沖縄体 制整備事業 ・スポーツコミッ ッション相談件数 184件。	最終予算額 41,435 不用額 10

	92,176	(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・東京2020大会の事前キャンプ誘致に係るキーパーソン招聘等の実施。	89,091	(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・東京2020大会事前キャンプ決定数5件(延べ10件)。	最終予算額 90,532 不用額 1,441
--	--------	---	--------	---	---------------------------------

### 3 事業の効果/課題

#### (1) スポーツイベント支援事業

効果： スポーツイベントモデル事業への支援を通して、新たなスポーツイベントの創出や定着化を図るための支援を行った。また、国際スポーツ大会開催支援を行い、国際大会の開催実績を作るとともに、県外・海外からの選手や関係者の集客が図られた。

課題： 創出したイベントの自走化には、集客方法や運営等のノウハウを持つ有識者による指導・助言が重要である。また、国際スポーツ大会の開催実施に向けては、情報収集や早い段階からの関係者・競技団体との連携を図る必要がある。

#### (2) スポーツ観光誘客促進事業

効果： 沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着を図るため、県外・海外で多角的なプロモーション等を実施し、本県への観光誘客を促進した。

課題： 沖縄へのスポーツを目的とした観光誘客を増加・定着させるためには、沖縄の優位性・独自性を活かしたPR、プロスポーツ公式戦への来場者数の増に向けたプロモーション、県内のスポーツに関する気運醸成が重要である。

#### (3) プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業

効果： プロ野球キャンプ受入市町村との意見交換会を実施し、市町村の意見・提案を踏まえた県内外での誘客プロモーションやキャンプ来訪へ向けたPR活動、プロ野球キャンプ情報WEBサイトの構築、キャンプガイドブックの作成・配布、県内周遊を促すコンテンツの開発等を行うことで、県外から多くの誘客が図られた。

課題： プロ野球キャンプを目的とした来訪者数の更なる増加を図るためには、キャンプ地へのアクセス等の利便性を高める取組を検討する必要がある。

#### (4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業

効果： スポーツを目的とした来訪者の円滑な受入を行うワンストップ機能を担うスポーツコミッション沖縄を支援し、県外・海外からのスポーツコンベンションに係る各種問い合わせに対し、きめ細かな対応を行い、令和元年度は184件の相談につながった。

課題： スポーツコンベンション実施に関する相談件数のうち、約3割は海外団体に関わる問合せとなっていることから、多言語に対応できる人材の確保が必要である。

#### (5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

効果： 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に向け、受入希望市町村と連携し、海外誘致活動及びキーパーソン招聘等に取り組んだ。令和元年度は、オーストラリアトライアスロン連盟、ニュージーランドラグビー連盟、ドイツ空手連盟、ルワンダパラリンピック委員会、デンマークハンドボール協会と事前キャンプに係る協定を締結した。(令和元年度末時点で、延べ10件の協定を締結。)

課題： 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となったことから、協定締結済みの海外競技団体と引き続き本県での事前キャンプの実施に向けた、調整を進めるとともに、沖縄に関心を示す海外競技団体との協定締結に向けて交渉・調整していく必要がある。

**基本項目：**「新時代沖縄」の到来

**実施項目：**沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名：**サッカーキャンプ誘致戦略推進事業（継続）

**事業期間：**平成27年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

### 1 事業の目的・内容

サッカーキャンプの誘致を戦略的に推進するため、キャンプ誘致活動及び誘客のほか、県内グラウンドの芝生環境の向上を図る取組を行う。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サッカー キャンプ 誘致戦略 推進事業	40,100	1 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業  ・28クラブ以上のクラブを誘致する。  ・新たなサッカーキャンプ地を創出する。	39,897	1 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業  ・29クラブを誘致した（うち3クラブは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施中止）。  ・新たなサッカーキャンプ地を創出した（豊見城市）。	☆ 最終予算額 40,100 執行率 99.5% 不用額 203

### 3 事業の効果/課題

#### (1) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業

効果： サッカーキャンプ受入市町村及びキャンプ実施クラブ等との連携を強化し、キャンプを目的とした新たな観光客の増加及び経済効果の向上、「スポーツアイランド沖縄」の認知向上及びブランド化、キャンプ期間中のサッカー教室等を通じた地域交流を図った。

課題： 離島においては、実践練習相手（トレーニングマッチ）の確保が課題となっている。

#### (2) 受入市町村促進事業

効果： サッカーキャンプ誘致希望市町村において、受入予定グラウンドの芝生環境改善を図り、新たなサッカーキャンプ地として、クラブを誘致することができた。また、県内全域のグラウンド芝生環境の向上のため、各地のグラウンドを巡回し、土壌調査や、県内外のグラウンドのクオリティを比較し、芝管理手法の情報共有等を通して、芝管理技術の底上げを図った。

課題： 新規のキャンプ実施希望クラブに対して、受入可能施設が不足している。また、一部施設において、更なる芝管理技術の向上が課題となっている。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：東京2020オリンピック沖縄県聖火リレー推進事業（新規）

**事業期間**：平成30年度～令和3年度（予定）

**部課等名**：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

### 1 事業の目的・内容

東京2020オリンピック沖縄県聖火リレーの実施に向け、実行委員会の運営、県内ルートの選定、ランナー選考、沿道整理、セレブレーション会場確保、整理、演出等の準備を進める。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
東京2020 オリンピック 沖縄県聖火リ レー推進 事業	40,000	1 東京2020オリ ンピック沖縄県 聖火リレー推進 事業  ・ 県内ルート選 定、聖火ランナ ー選定、セレモ ニー会場確保 及び進行プロ グラムの策定	39,998	1 東京2020オリ ンピック沖縄県 聖火リレー推進 事業  ・ 県内ルート選 定（14市町村）、 聖火ランナー選 定（44）、セレ モニー会場確保 及び進行プロ グラムの策定 （出発式2会場、 セレブレーション 2会場）	最終予算額 40,000 執行率 100% 不用額 2

### 3 事業の効果/課題

(1) 東京2020オリンピック沖縄県聖火リレー推進事業

効果： 県内ルート及び聖火ランナーの選定を行うとともに、出発式及びセレブレーションの会場確保と進行プログラムの策定を行うことができた。

課題： 東京2020大会延期に伴い、聖火リレーについても延期が決定したことから、新たな日程や実施内容が判明次第、改めて必要な準備を進める必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：2020東京オリンピック・パラリンピック選手輩出事業（継続）

事業期間：平成28年度～令和2年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

### 1 事業の目的・内容

公益財団法人沖縄県体育協会に設置するオリンピック・パラリンピック選手輩出戦略検討委員会で選定された国内競技連盟（NF）指定選手または県内競技団体推薦選手の支援・強化育成を行い、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会において多くの選手の輩出を目指す。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
2020東京 オリンピ ック・パ ラリンピ ック選手 輩出事業	14,208	1 2020東京オリ ンピック・パラ リンピック選手 輩出事業  ・2020年東京オリ ンピック・パラリ ンピック競技大会 に、多くの県出身 選手を輩出するた め、沖縄県体育協 会と連携し、県出 身トップアスリー トの育成強化を行 う。 予定件数：9競技 18名	13,799	1 2020東京オリ ンピック・パラ リンピック選手 輩出事業  ・2020年東京オリ ンピック・パラリ ンピック競技大会 に、多くの県出身 選手を輩出するた め、沖縄県体育協 会と連携し、県出 身トップアスリー トの育成強化を行 った。 実施件数：9競技 18名（当該事業支 援対象選手のうち、 東京オリ・パ ラ内定選手2名、 内定が有望視され ている選手12名）	最終予算額 14,208 執行率 97.1% 不用額 409

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 2020東京オリンピック・パラリンピック選手輩出事業

効果： 県出身のNF（国内競技連盟）指定選手に対して支援を行うことにより、県出身の日本代表選手数の増加に繋がっている。

課題： 令和2年度については、日本代表に選ばれた者に対して、中央競技団体から十分な支援が受けられることから、令和元年度で本事業を終了とした。

一方、継続して世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図る必要があることから、既存の競技力向上対策事業に「ワールドクラスアスリート育成強化事業」を盛り込み、選手のスポーツ活動を支援していく。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：競技力維持・向上対策事業（継続）

事業期間：平成23年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

### 1 事業の目的・内容

競技力を向上させるための事業等への支援や国民体育大会及び九州ブロック大会への選手派遣等を行い、全国及び国際的に活躍できるトップアスリートを組織的・計画的に育成する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
競技力維持・向上 対策事業	248,021	1 競技力維持・ 向上対策事業費	248,021	1 競技力維持・ 向上対策事業費	最終予算額 248,021 執行率 100.0%
	147,126	・国民体育大会及 び九州ブロック大 会への選手団の派 遣	147,126	・国民体育大会及 び九州ブロック大 会への選手団の派 遣を行った。 (派遣：1,129人)	
	13,864	・沖縄県民体育大 会の開催	13,864	・沖縄県民体育大 会を開催した。 (参加：9,098人)	
	73,499	・競技力向上対策 事業の実施	72,153	・競技力向上対策 事業を実施し、県 内競技団体に対し 強化支援を行った。 (支援団体：40団 体)	
	7,875	・スポーツ少年団 育成事業の実施	9,221	・スポーツ少年団 育成事業を実施 し、交流大会等 を行った。 (県内10競技、県 外7競技)	
5,657	・スポーツ医・科 学研究事業の実施	5,657	・スポーツ医・科 学研究事業を実施 しサポートプログ ラムに基づく支援 等を行った。 (8団体)		

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 競技力維持・向上対策事業費

効果： 沖縄県体育協会等と連携した県民体育大会の開催や競技力向上等の取組により、本県のスポーツ振興、青少年の健全育成等に貢献した。

課題： 本県の競技力向上などスポーツの振興をより効果的に推進するため、沖縄県体育協会や県内競技団体等との連携を強化する。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：離島観光活性化促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

離島観光の振興を図るため、離島の魅力発信や離島国内チャーター便就航支援及び各種プロモーションを推進する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
離島観光 活性化促 進事業	271,500	1 離島観光活性化促進事業	257,311	1 離島観光活性化促進事業	☆ 最終予算額 274,967 執行率 93.6% 不用額 17,656
	9,000	(1) 離島航空路開設・チャーター便支援	1,005	(1) 離島航空路開設・チャーター便支援 実施件数：9件	最終予算額 1,005
	27,846	(2) 下地島空港への国内線定期便支援事業	24,807	(2) 下地島空港への国内線定期便支援事業 実施件数：16件	最終予算額 24,807
	107,032	(3) 離島観光プロモーション 離島観光の全般的な魅力の発信、旅行会社や航空会社と連携したキャンペーン	116,938	(3) 離島観光プロモーション WEBや新聞、テレビ等各種媒体を活用し、多方面から離島路線の認知度向上及び旅行先としての魅力を訴求し、離島への来訪促進を図った	最終予算額 118,066 不用額 1,128
	127,622	(4) 離島観光基盤強化 主要離島地域（八重山・宮古・久米島）観光協会が主体となった地域プロモーション	114,561	(4) 離島観光基盤強化 八重山・宮古・久米島観光協会が主体となり、離島観光の旬な情報発信、県外イベント等において離島魅	最終予算額 131,089 不用額 16,528

					力のPRを実施した。
--	--	--	--	--	------------

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 離島航空路開設・チャーター便支援

効果： 下地島へ新たな路線が就航するなど、チャーター便支援の目的を概ね達成できた。

課題： 久米島への本土路線の定期便化に向け、引き続き支援を実施する必要がある。

#### (2) 下地島空港への国内線定期便支援事業

効果： 成田、関西路線を支援し、新規開港の空港への就航リスクの低減を図ることができた。

課題： 下地島空港への路線誘致について、中部、神戸等をターゲットに引き続き取り組む必要がある。

#### (3) 離島観光プロモーション

効果： 各離島の魅力について各種媒体を活用したプロモーションを実施し、離島全体での誘客の強化を図った。

課題： 認知度の低い本島周辺の小規模離島について、Web等を活用してプロモーションを重点的に実施する必要がある。

#### (4) 離島観光基盤強化

効果： 宮古・石垣への直行便の増加等により、離島各圏域の入域観光客数については好調に推移しており、基盤強化につながった。

課題： 宮古・石垣以外についても、引き続き関係機関と連携し、各離島ならではの魅力を活かしたプロモーションを実施する必要がある。

**基本項目：**「新時代沖縄」の到来

**実施項目：**沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名：**Be.Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業（新規）

**事業期間：**令和元年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

観光消費額を向上させるため、「キャッシュレス」を推進させる取組を行うとともに、「キャッシュレス」に不可欠な高速通信環境（光回線）を同様に利用する「フリーWi-Fi」を促進する取組を実施する

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
Be.Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業	22,300	1 Be.Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業	20,396	1 Be.Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業	☆ 最終予算額 22,300 執行率 91.5% 不用額 1,904

### 3 事業の効果/課題

#### (1) Be.Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業

効果： キャッシュレス現況調査については、日本人観光客に対して那覇空港国内線制限エリア内にてアンケートを実施し、外国人観光客向けに那覇空港国際線制限エリア内に加え那覇港クルーズターミナルでの聞き取り調査を実施。（日本人調査419票、外国人調査416票）

事業者向けには郵送による調査を実施。（実績739票（発送2,099票））

Wi-Fiについては、協議会を実施しログデータの取得、利活用に向けた協議を実施した。

課題： 令和2年度の実証実験および令和3年度の普及においては、国の動向や協議会の報告等も踏まえ、沖縄県の実状にあった事業実施を行う必要がある。

### 4 その他

Wi-Fiログデータの取得やキャッシュレス決済でのデータ取得の検討及び、交通ビッグデータ等と掛け合わせた観光施策への利活用化を検討していく。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：産業の振興と雇用の創出・安定

**重点施策事業名**：沖縄食文化保存・普及・継承事業（継続）

**事業期間**：平成29年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

長い歴史や諸外国との交流の中で、人々の生活に根付いて育まれた独特な食文化を次世代へ継承するとともに観光資源としての活用に繋げるため、琉球料理を基盤とした沖縄の伝統的な食文化の保存、普及、継承を推進する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄食文化保存・普及・継承事業	19,082	1 沖縄食文化保存・普及・継承事業  平成28年度に策定した「沖縄の伝統的な食文化普及推進計画」に基づき「琉球料理担い手育成講座」を実施し、普及啓発活動を担う人材の育成を図る。	18,859	1 沖縄食文化保存・普及・継承事業  平成28年度に策定した「沖縄の伝統的な食文化普及推進計画」に基づき「琉球料理担い手育成講座」を実施し、普及啓発活動を担う人材の育成を図った。	最終予算額 19,082 執行率 98.8% 不用額 233

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄食文化保存・普及・継承事業

**効果**： 伝統的な食文化の担い手の育成として、調理師又は栄養士として10年以上の実務経験のある者を対象に「琉球料理伝承人育成講座」を開催し、普及啓発活動を担う人材を23名育成、認証するとともに、前年度認証した琉球料理伝承人による出前講座を5回実施した。

**課題**： 観光資源として位置づけるため、琉球料理を提供するお店の認証や情報発信について検討する必要がある。

また、より効果的な沖縄食文化の普及促進に繋がるように、琉球料理伝承人による出前講座の対象や開催場所等を検討する必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

第6回世界のウチナーンチュ大会で制定された「世界のウチナーンチュの日」の周知広報活動等を実施することで、世界に広がるウチナーネットワークの継承・発展をより効率的に進める。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
世界のウチナーネットワーク強化推進事業	44,700	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業  (1) 広報  (2) 世界のウチナーンチュの日トークイベント  (3) WEB、SNSでの情報発信事業  (4) 国際交流連携連絡会議の実施  (5) 移民の歴史を巡るバスツアー	43,038	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業  世界のウチナーンチュの日を中心に新聞、ラジオ等で広報を実施した。  世界を舞台に活躍するウチナーンチュの講演会、及び県系子弟留学生によるトークイベントを開催した。 日時：10月30日 場所：国立劇場おきなわ 参加者：210名  WEBサイト及びSNSを運営管理し、国内外のウチナーネットワーク関係者への情報発信と相互交流を促進した（継続中）。  市町村交流担当課と県移民歴史関係機関との連絡会議を開催した。 日時：7月19日  宜野座村と連携し、移民の名所を	☆ 最終予算額 44,700 執行率 96.3% 不用額 1,662

		<p>(6) 移民の歴史啓発イベント</p>		<p>巡るバスツアーと町歩きを実施した。      日時：1月19日      場所：宜野座村      参加者：29名</p> <p>「ウチナーネットワーク啓発パネル」を作成し、希望のあった県内15市町村へ貸与しパネル展開催を支援した。      日時：10月～1月の間で各市町村1週間程度</p>
		<p>(7) レッツスタディー！ワールドウチナーンチュ事業</p>		<p>県内小中学校等での移民歴史出前講座と指導者養成の講座を実施した。      ① 出前講座実施数：25回      ② 養成講座受講者：延べ62名</p>
		<p>(8) 移民の歴史啓発事業</p>		<p>海外移民としてペルー等で活躍した宜野座村出身の伊芸銀勇氏を主演とした演劇を制作・上演した。      ① 11月4日／963名（国立劇場おきなわ）      ② 1月19日／786名（宜野座村がらまんホール）</p>
		<p>(9) 沖縄文化芸能指導者派遣事業</p>		<p>海外沖縄県人会主催イベントにあわせて芸能指導者を派遣した。      ① ロンドン県人会（Japan祭）：9月29日／来場者約5万名      ② シドニー県人会（沖縄くる祭）：11月10日／来場者約250名      ③ ペルー県人会（琉球ダイナミック）：2月16日／来場者約300名</p>

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業

効果： 令和元年度は、「世界のウチナーンチュの日」である10月30日前後の期間を中心に様々な取組を実施した。

10月30日に開催した「世界のウチナーンチュの日トークイベント」では、海外で活躍するウチナーンチュによる基調講演に加え、県系移民子弟留学生によるトークイベントも実施し、県民の国際性涵養と県系子弟との交流を深めることが出来た。

そのほか、昨年度に引き続き移民の歴史を学べる舞台の上演や、バスツアー等により、幅広い世代への移民の歴史啓発に取り組みとともに、海外県人会主催イベントへの芸能指導者の派遣による県人会活動支援等を行った。

また、様々なメディアを活用した広報活動に加えて、特に多言語WEBサイトやSNSを活用し、世界中のウチナーネットワーク関係者への情報発信及び相互交流に取り組み、「世界のウチナーンチュの日」の認知度向上及び定着を図った。

市町村等県内団体や海外県人会に対し、「世界のウチナーンチュの日」に因んだ取組の実施を呼びかけたところ、令和元年度は県内では市町村等30団体、海外では県人会20団体、計50団体が独自の取組を実施しており、平成30年度の33団体と比較して、活動の広がりが見られた。

課題： 事業効果が順調に発現していると考えられることから、令和元年度に実施した事業の方向性を維持しつつ、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しながら、主体的に「世界のウチナーンチュの日」に因んだ取組を行う団体数を維持・増加させるよう取り組む必要がある。

また、SNSを通じて、特に若い世代を中心に「世界のウチナーンチュの日」の認知度向上を図る取組を実施し、ウチナーネットワークの次世代への継承と発展につなげていく必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：おきなわ国際協力人材育成事業（継続）

事業期間：平成25年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

県内高校生の、開発途上国の国際協力現場等への視察派遣や、高校等での国際協力理解促進出前講座の実施などにより、将来の沖縄県の国際協力を担う人材を育成する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ 国際協力 人材育成 事業	44,900	<p>1 おきなわ国際 協力人材育成 事業</p> <p>(1) 県内の高校生を国際協力レポーターとして開発途上国に派遣し、国際協力の現場を視察させ現地の若者等との交流を実体験させる。</p> <p>(2) 県内の学校等で国際協力活動の経験者による出前講座を実施し、国際協力の必要性等の理解促進を図る。</p>	43,876	<p>1 おきなわ国際 協力人材育成 事業</p> <p>(1) 県内高校生39名を国際協力レポーターとして開発途上国に派遣し、国際協力の現場を視察させた。 ①期日：7月29日～8月8日（2カ国は台風の影響で9日帰国） ②派遣国：ベトナム、カンボジア、フィリピン ③参加者：県内高校生39名（13名×3ヶ国）</p> <p>(2) 離島を含む20校で、青年海外協力隊経験者等による国際協力に関する出前講座を実施した。 ①期間：9月～1月 ②参加者数：2,456名</p>	<p>☆ 最終予算額 44,900 執行率 97.7% 不用額 1,024</p>

### 3 事業の効果/課題

#### (1) おきなわ国際協力人材育成事業

効果： 国際協力の現場の視察や、現地でのホームステイ等による交流を通して、グローバルな視点や国際協力に興味を持つ若い人材の育成に寄与した。併せて、派遣先関係機関に対して、アジア地域での国際協力・貢献活動拠点を目指す本県の積極的な姿勢を示すことができた。

また、国際協力活動経験者等が県内中学校、高校に出向き、国際協力に関する講座を開くことで、世界をより身近に感じ、国際協力の必要性を理解する若者の育成に貢献した。

課題： 海外での視察をより安全で充実したものとするため、事前学習では、ODAなどの他にも危機管理や安全対策、体調管理についてもしっかりと研修を行う必要がある。

国際協力レポーター事業参加者がいる高校以外の学校への出前講座は、前年度と比較し若干増加したものの少ない。より幅広く学校に応募してもらうため、今後も引き続き各高校への協力依頼等により受講を促していく。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しながら事業スキームの見直しを図る必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：組踊上演300周年記念事業費（新規）

**事業期間**：令和元年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課・沖縄県立芸術大学

### 1 事業の目的・内容

組踊上演300周年記念事業の実施及び運営に対する支援を行うとともに、組踊上演300周年記念県立芸大組踊・琉球舞踊公演を実施する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
組踊上演 300周年 記念事業 費	48,700	1 組踊上演300 周年記念事業 費  ・事業の実施及び 運営に対する支援 を行うとともに、 組踊・琉球舞踊公 演を実施する。	57,144	1 組踊上演300 周年記念事業事 業費  ・うるま市、沖縄 市、大宜味村、南 風原町及び那覇市 にて組踊・琉球舞 踊公演を開催し た。	☆ 最終予算額 59,700 執行率 95.7% 不用額 2,556

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 組踊上演300周年記念事業費

効果： 組踊上演300周年記念事業による式典や展示及び組踊・琉球舞踊5公演等の実施により県民へ組踊の関心・認知度を高め、次の100年へと継承していく足がかりとなった。

課題： 県民が組踊をはじめとする沖縄文化により一層親しみ、沖縄文化に対する誇りをあらたにする環境づくりにつなげる必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：沖縄空手ユネスコ登録推進事業（新規）

**事業期間**：令和元年度～令和2年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 空手振興課

### 1 事業の目的・内容

有識者等による委員会を設置し、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に関する調査・検討を行い、提案に必要な事項等を取りまとめる。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 ユネスコ 登録推進 事業	492	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に関する調査・検討の実施	61	有識者及び空手関係者等による委員会を開催し、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な事項に関する調査・検討を実施	最終予算額 492 執行率 12.4% 不用額 431

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業

効果：沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・検討の着実な推進が図られた。

課題：引き続き、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・検討及び県民の気運醸成に向けた取組を推進する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄県空手振興事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手を振興するため策定した沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップに基づき、(1)第1回沖縄空手少年少女国際大会の開催準備、(2)沖縄空手会館を拠点とした発信事業等を展開する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄県空 手振興事 業	154,000	1 沖縄県空手振興事業	128,289	1 沖縄県空手振興事業	☆ 最終予算額 143,000 執行率 89.7% 不用額 14,711
	24,373	(1) 沖縄空手流派研究事業  ・空手の流派に関する解説書の作成に必要な調査・研究の実施	21,359	(1) 沖縄空手流派研究事業  ・首里・泊手系に関する調査・研究の実施	最終予算額 24,373 執行率 87.6% 不用額 3,014
	44,000	(2) 空手イベント開催事業  ・空手まつり、空手の日記念演武祭の開催	41,862	(2) 空手イベント開催事業  ・空手まつり、空手の日記念演武祭の開催	最終予算額 44,000 執行率 95.1% 不用額 2,138
	20,177	(3) 沖縄空手指導者派遣事業  ・国内外への空手指導者の派遣	19,150	(3) 沖縄空手指導者派遣事業  ・国内外への空手指導者の派遣	最終予算額 20,177 執行率 94.9% 不用額 1,027
	10,407	(4) 沖縄空手案内センター事業  ・沖縄空手案内センターの開設	10,407	(4) 沖縄空手案内センター事業  ・沖縄空手案内センター設置	最終予算額 10,407 執行率 100% 不用額 0

14,289	(5) 沖縄空手普及 ・啓発事業  ・国内外の媒体を活用した空手の広報等	14,282	(5) 沖縄空手普及 ・啓発事業  ・国内で開催される沖縄物産展・旅行博等での演武及びVR動画を用いた体験イベント等の実施	最終予算額 14,289 執行率 99.9% 不用額 7
2,047	(6) 沖縄空手資料 収集・調査研究事業  ・沖縄空手の資料 収集・調査研究	1,969	(6) 沖縄空手資料 収集・調査研究事業  ・戦前・戦後の空 手関連の新聞記事 収集及び沖縄空手 会館で空手関連記 事を紹介する展示 用パネルの作成	最終予算額 2,047 執行率 96.2% 不用額 78
5,047	(7) 沖縄空手会館 企画展示事業  ・沖縄空手会館で 企画展の実施	5,047	(7) 沖縄空手会館 企画展示事業  ・沖縄空手会館資 料室で沖縄空手と 学校教育Ⅰの企画 展を実施	最終予算額 5,047 執行率 100% 不用額 0
3,028	(8) 沖縄空手会館 多言語化推進事業  ・沖縄空手会館資 料室の多言語化	2,592	(8) 沖縄空手会館 多言語化推進事業  ・沖縄空手会館資 料室の多言語音声 ガイドシステム及 び多言語リーフレ ットに、韓国語を 追加作成	最終予算額 3,028 執行率 85.6% 不用額 436
16,000	(9) 沖縄空手少年 少女国際大会事業  ・大会開催に向け た準備	0	(9) 沖縄空手少年 少女国際大会事業  ・大会開催を令和 3年度に変更し、 令和2年度に準備 を行う	最終予算額 5,000 執行率 0% 不用額 5,000
14,632	(10) 沖縄県空手振 興事業におけるそ の他事務費	11,621	(10) 沖縄県空手振 興事業におけるそ の他事務費	最終予算額 14,632 執行率 79.4% 不用額 3,011

### 3 事業の効果/課題

#### 1 沖縄県空手振興事業

効果： 令和元年10月に空手の日を記念して奉納演武及び記念演武祭を開催した。また、令和2年1月に国際セミナーを開催し、「空手発祥の地沖縄」を国内外に広く発信した。

空手指導者を国内外に派遣することにより指導者・後継者の育成を図ることができた。

課題： 沖縄空手振興ビジョンの実現に向けて、同ロードマップに基づき、行政、空手関係者、経済界等がこれまで以上に連携して沖縄空手を広く発信し普及・発展を図るとともに、指導者・後継者を育成し、保存・継承等を図る。

また、引き続き「空手発祥の地沖縄」の認知度向上を図るとともに、沖縄空手会館の知名度向上及び企画展の集客を図るための広報活動を行う。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：しまくとうば普及継承事業（継続）

事業期間：平成26年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄文化の基層である「しまくとうば」を普及継承するため、平成29年度に設置した「しまくとうば普及センター」において、各地域で普及に携わる人材の育成や県民大会の開催等を行う。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまくとうば普及継承事業	99,900	1 しまくとうば普及継承事業  ・県民大会を開催する。  ・しまくとうば読本を作成し、県内小学5年生及び中学2年生へ配付する。  ・県内で人材養成講座を20ヶ所開催する。  ・しまくとうば普及センターの運営	91,014	1 しまくとうば普及継承事業  ・県民大会を令和元年9月14日に開催した。  ・しまくとうば読本を作成し、県内小学5年生及び中学2年生へ配付した。  ・県内36ヶ所で人材養成講座を開催した。  ・しまくとうば普及の中核的機能を果たすしまくとうば普及センターを運営した。	☆ 最終予算額 99,900 執行率 91.1% 不用額 8,886

### 3 事業の効果/課題

#### (1) しまくとうば普及継承事業

効果： 幅広い世代に「しまくとうば」に触れる機会を提供することで、県民へ「しまくとうば」普及の気運醸成を図った。

しまくとうば普及センターの運営により、市町村や地域の団体が行うしまくとうば講座への支援を行った。

（開催件数：36件、受講者数：3,031人）

課題： 特に若年層についてしまくとうばを使う人の数が伸び悩んでいるため、公民館を含む市町村等の各実施主体と連携を図り、しまくとうばを聞く

機会や話す機会の増加に努め、普及継承に取り組んでいく必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）

**事業期間**：平成27年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 博物館・美術館

### 1 事業の目的・内容

戦後70年余を経て、戦災により失われた相伝の8分野のティーワジャ（手わざ）など王国時代の精緻で至高の技の世界を現代に蘇らせ、世界に誇る沖縄の手わざの力をモノを通して県内外へ発信し、琉球王国文化をブランドとした文化観光拠点として沖縄をアピールする。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球王国 文化遺産 集積・再 興事業	93,900	1 琉球王国文化遺産集積・再興事業	91,482	1 琉球王国文化遺産集積・再興事業	☆ 最終予算額 93,900 執行率 97.4% 不用額 2,418
	1,609	・有識者で構成された8分野の監修者会議を開催する。	1,053	・有識者で構成された8分野の監修者会議を延べ16回開催した。	
	75,912	・実施設計書を元に、模造復元資料の製作を行う。	75,094	・8分野24件の模造復元資料の製作を行った。	
	16,379	・製作した復元資料の展覧会を行う。	15,335	・製作した復元資料の展覧会を行った。	

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 琉球王国文化遺産集積・再興事業

効果： 製作事業では監修者会議を16回開催し、8分野24件の模造復元資料を製作した。また展覧会を開催し、期間中4551人が参観した。

課題： 復元にあたって素材と構造の確認を行い、当時の手わざ（技術）の復元を進める必要がある。また展覧会では感染症拡大防止を意識した展覧会開催を工夫する必要がある。

**基本項目：**沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目：**歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名：**デジタルミュージアム推進事業（継続）

**事業期間：**平成28年度～令和2年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 博物館・美術館

### 1 事業の目的・内容

沖縄各地で収録された伝承話音声資料をデジタル資料で保存する。また、デジタルコンテンツを開発し、Web上や展示室等で公開することにより民話としまくとうばの将来世代への継承、普及促進を図る。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
デジタル ミュージアム推進 事業	21,960	1 デジタルミュージアム推進事業  ・各民話の文字化、翻訳、内容調査、方言の監修等を行い、話者から配信許可を得る。  ・民話の動画コンテンツ25話を制作する。  ・デジタル民話ミュージアムを開設する。  ・館内外での上映会を4回実施する	21,721	1 デジタルミュージアム推進事業  ・各民話の文字化、翻訳、内容調査、方言の監修等を行い、話者から配信許可を得た。  ・民話の動画コンテンツ25話を制作した。  ・デジタル民話ミュージアムを開設した。  ・館内外での上映会を7回実施した。	☆ 最終予算額 21,960 執行率 98.9% 不用額 239

### 3 事業の効果/課題

#### (1) デジタルミュージアム推進事業

効果： 約3万3千件の中から選別された優良な伝承話資料80件のうち、25話の動画コンテンツを制作し、また既に制作された31話について上映会等を実施し広く県民に紹介した。

博物館ホームページにデジタルミュージアムを開設し、民話検索システムの運用と動画コンテンツの公開を実施した。

課題： 本来、地域の人々が地域の言葉で語り継いできた伝承話が、しまくとうばを話す人が減り地域性が薄くなってきたこと、伝承者が高齢化していることで、口承伝承だけでは保存が困難になっているため、無形文化遺産の一つである伝承話の貴重な音源を、生きた資料として保存し広く活用する必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：文化発信交流拠点整備事業（継続）

**事業期間**：平成24年度～令和6年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄独自の文化の保存・継承や芸術文化創造活動等を持続可能なものとするため、文化発信交流拠点の整備を行う。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
文化発信 交流拠点 整備事業	447	1 文化発信交流 拠点整備事業  ・実施計画（案） について関係機関 と調整を行う。	331	1 文化発信交流 拠点整備事業  ・実施計画案につ いて関係機関（浦 添市）と調整を行 った。	最終予算額 447 執行率 74.0% 不用額 116

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 文化発信交流拠点整備事業

**効果**：文化発信交流拠点の整備により、専門人材の育成や文化芸術創造活動の活性化が図られるとともに、国内外に沖縄の文化芸術や芸能を広く発信することで、文化面から沖縄の魅力を高めることができる。

**課題**：実施計画（案）が策定されたので、それを踏まえ文化関係団体と調整をしていく必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業（継続）

**事業期間**：平成29年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組を、文化専門人材の目利きのもとで公募、審査、採択し、支援する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄文化 芸術を支 える環境 形成推進 事業	106,500	1 沖縄文化芸術 を支える環境形 成推進事業  ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公募 ・審査・採択し、 19件程度支援を行 う。	99,972	1 沖縄文化芸術 を支える環境形 成推進事業  ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公募 ・審査・採択し、 21件を支援した。	☆ 最終予算額 106,500 執行率 93.9% 不用額 6,528

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業

**効果**： 本事業により県内文化関係団体等の取り組みを支援することで、本県の文化芸術活動を支える環境の形成が推進され、本県の多様で豊かな文化芸術活動の持続的発展が図られた。

令和元年度に採択された21団体中、新規採択4団体を除く17団体中、

①文化芸術活動数が前年度より増加した団体が7団体

②文化芸術活動による享受者数が、前年度より増加した団体が4団体

③文化芸術活動と他分野が連携した活動数が、前年度より増加した団体は8団体

①・③については設定した目標をいずれも上回った。

**課題**： 引き続き事例集を発行するなどし、事業の周知を図るとともに、新型コロナウイルス感染症等の状況を適切に把握し、事業の進捗管理を丁寧に行う必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：多文化共生推進事業（継続）

事業期間：平成26年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

### 1 事業の目的・内容

県民と在住外国人が相互理解し、快適に共存出来るようにするために、日本語の理解や文化の違いなどにより生活に支障をきたしている在住外国人の支援や地域に受け入れる環境づくりを行う。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
多文化共生推進事業	9,171	1 多文化共生推進調査事業  「おきなわ多文化共生推進指針」の施策例に基づき、市町村でモデル事業を実施し、その成果や課題・手法等を広く共有することで、市町村が多文化共生に関連した取組を実施しやすい環境を整える。	6,747	1 多文化共生推進調査事業  多文化共生の地域づくりを促進するため、先駆的に活動している宜野湾市等と他の自治体との広域連携を促進するとともに、市町村行政担当者や住民を対象としたワークショップや外国籍の住民との自発的なコミュニケーション活動を目指した「やさしい日本語」の普及啓発の取組を実施した。	最終予算額 9,171 執行率 73.6% 不用額 2,424

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 多文化共生推進調査事業

効果：平成27年～28年の2年間宜野湾市を実施モデル地域として多文化共生モデル事業を実施。防災、交流、教育等のワークショップや日本語サークル、などの文化講座を通し、多文化共生に対する地域の意識啓発に繋げることが出来た。

また、宜野湾市では平成29年度より新たに国際交流員を採用し、庁内案内看板やHP等の多言語化、国際交流基本構想の見直しを検討されるなどの成果があった。

平成30年度は石垣市をモデル地域として、各種啓発事業や多文化共生マネージャー全国協議会監事を招いてのシンポジウム、地域に在住する外国人の地域社会参画のきっかけとなる交流会を実施し、同市における多文化共生社会の構築に向けた環境づくりを促進した。

課題：平成29年度の実態調査により、約7割の自治体が多文化共生に関わる取組を行っていないことが明らかとなった。

多文化共生社会の構築に向け、引き続き市町村等の取組を促進する各種の啓発事業に取り組み、環境づくりを支援する。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しながら事業スキームを検討する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：医療の充実・健康福祉社会の実現

重点施策事業名：社会体育活動の推進（継続）

事業期間：平成10年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

総合型地域スポーツクラブや各スポーツ関係機関と連携し、県民がスポーツで  
きる機会の拡大とスポーツへの関心と意欲を高め、社会体育活動の推進を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
社会体育 活動の推 進	32,338		30,494		最終予算額 32,338 執行率 94.3% 不用額 1,844
	1,644	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・スポーツ推進審 議会の運営や本県 の生涯スポーツ振 興施策に関する経 費。	933	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・沖縄県生涯スポ ーツ功労者等表彰 (3名、2団体)。	最終予算額 1,644 不用額 711
	5,159	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ ン祭の開催。 ・県立学校体育施 設開放事業の実 施。	5,002	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ ン祭の開催(36種 目、8,782名参加)。 ・県立学校体育施 設開放事業の実 施(10校開放、12 団体・12種目利 用)。	最終予算額 5,159 不用額 157
	4,935	3 広域スポーツ センター事業費 ・地域住民が、身 近な地域でスポ ーツに親しむこと ができる総合型地 域スポーツクラブ の創設、育成及び 支援の実施。 ・総合型地域スポ	4,219	3 広域スポーツ センター事業費 ・県広域スポーツ センター及び県体 育協会にクラブア ドバイザーを配置 し、クラブ訪問等 によりクラブ運営 に関する助言・指 導を実施(66件訪	最終予算額 4,935 不用額 716

		<p>ーツクラブに対する助言・指導の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ研修会及び担当者連絡会議の開催。</li> <li>・大学と連携した総合型地域スポーツクラブの普及・啓発の実施。</li> <li>・市町村とクラブの連携を促進するため、市町村訪問を実施し、クラブ関係者を交えた意見交換会の開催。</li> </ul>		<p>問)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ研修会及び担当者連絡会議を開催(21名参加)。</li> <li>・大学等の授業の中で総合型地域スポーツクラブの普及・啓発を実施(沖縄国際大学・196名参加、名桜大学・106名参加)。</li> <li>・市町村とクラブの連携を促進するため、クラブ関係者と市町村を訪問し、意見交換会を実施(4市村)。</li> </ul>		
20,600	4	<p>地域スポーツ活動・健康力向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・スポーツ教室の開催。</li> <li>・総合型クラブによる大規模なスポーツイベントを開催。</li> </ul>	20,340	4	<p>地域スポーツ活動・健康力向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・スポーツ教室の開催(6クラブ・各12回開催、1,216名参加)。</li> <li>・総合型クラブ等による体験型のスポーツイベントを開催(来場者約2,500名、延べ4,650名体験)。</li> </ul>	<p>☆ 最終予算額 20,600 不用額 260</p>

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 生涯スポーツ振興事業費

効果： スポーツ推進審議会の開催や生涯スポーツ功労者表彰、生涯スポーツの普及を担う市町村担当者等を対象とした研修会の実施を通じ、本県の生涯スポーツの推進を図った。

課題： 生涯スポーツの更なる推進を図るためには、当該取組を継続して実施するほか、他県の優良事例等の情報を収集し、取り組んでいくことが必要である。

#### (2) 社会体育活動支援事業費

効果： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を開催し、誰でも気軽にスポーツに親しむ機会を県民に提供することや、県民にとって身近なスポーツ施設である学校体育施設を有効活用することを通じ生涯スポーツを推進した。

課題： 近年沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の参加者が1万人を下回る年が多いことから、より多くの県民の参加に繋がるよう広報活動に力を入れていく。

#### (3) 広域スポーツセンター事業費

効果： 地域住民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行うことを通じ生涯スポーツの推進を図った。

課題： 令和元年11月時点で、準備中のクラブを含め県内に64クラブ育成されているが、人材の確保や財政面において課題を抱えているクラブがある

ため、引き続きクラブ訪問等を通じ助言・指導を行っていく。

(4) 地域スポーツ活動・健康力向上事業

効果： 健康・スポーツ教室等開催事業やクラブ交流イベント事業、総合型クラブ活性化情報発信事業等を実施し、総合型クラブの認知度向上を図るとともに、教室及びスポーツイベント開催を通して地域住民のスポーツ機会を創出したことにより健康増進・体力向上が図られた。

課題： 県内の総合型クラブの認知度は平成24年度の14%に比べ、19.8%（R1）と向上しているが、全国平均値の31.4%（H24）と比較すると低い状況にあるため、総合型クラブに関する情報発信を強化する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：安心・安全で快適な社会づくり

重点施策事業名：観光産業におけるバリアフリー化の促進（継続）

事業期間：平成30年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄を訪れる高齢者、障害者等の観光客の受入体制の充実を図るため、観光事業者向けセミナーの開催や、アドバイザー派遣を行うとともに、県内観光バリアフリー情報発信等を行い、高齢者、障害者等の誘客に繋げる。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和元年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光産業 における バリアフ リー化の 促進	40,900	1 おきなわ観光 バリアフリー推 進事業  ・観光バリアフ リー入域調査の実 施。  ・観光関連事業者 を対象としたセミ ナーを11回程度開 催する。  ・観光関連事業者 に対し、観光バリ アフリーアドバイ ザーを25件以上派 遣し、各種助言を 行う。  ・バリアフリー観 光地としての認知 度向上、魅力的な 旅行商品の造成に 繋げるため、旅行 業者2社、インフ ルエンサー3組以 上を招聘する  ・展示会等への出 展を実施する。	40,128	1 おきなわ観光 バリアフリー推 進事業  ・観光バリアフ リー入域調査を実施 した。  ・新型コロナウイルス感染症の影響 で2件中止となり、 計9回のセミナー を開催し、合計32 8人が参加した。  ・新型コロナウイルス感染症の影響 で1件中止となり、 計24件アドバイ ザー派遣を実施し、 各種助言を行っ た。  ・旅行社2社、イ ンフルエンサー3 名を招聘し、バリ アフリー観光地と しての認知度向上 に寄与した。また 体験した旅行商品 に対する意見を聴 取した。  ・展示会等への出 展を実施した。	☆ 最終予算額 40,900 執行率 98.1% 不用額 772

### 3 事業の効果/課題

#### (1) おきなわ観光バリアフリー推進事業

効果： セミナーの開催等により、観光バリアフリーに対する意識啓発及びノウハウが共有され、県内の受入体制の促進に繋がった。また、展示会等への出展やインフルエンサーによる情報発信等により、沖縄観光バリアフリーの認知度向上に寄与した。更に、招聘した旅行会社1社が実際にバリアフリーの旅行商品を販売する等、旅行商品の造成に繋がった。

課題： 県内観光関連事業者における観光バリアフリー受入体制の積極的な取組を促し、さらなる受入体制の充実を図る必要がある。また、国内外におけるバリアフリー観光地としての認知度を高めていく必要がある。